

# 2019年度 分野別計画進捗等報告書

体系番号

07020101

## 1. 計画名称

茅野市地域防災計画

## 2. 計画全体の進捗状況及び総合評価

進捗評価	おおむね順調	説明	令和元年度には、茅野市防災ガイドブック(ハザードマップ)を改訂し、全戸に配布した。また、より詳細な地域の危険や、具体的な避難行動等を知っていただくために、地区防災マップの作成を進めている。(米沢地区、泉野地区で作成済み)
今後の重点化施策番号	2	説明	災害発生時よりも、平常時からの防災意識の高揚、防災体制の強化を進めるためには、全国的に課題となっている過剰な行政依存からの脱却が必要。近年激甚化する災害に、地域ぐるみで立ち向かうためには、市民に災害の現実を知っていただくとともに、ハザードマップ、地区防災マップなどを活用しながら、主体的な防災活動を推進していただけるよう、啓発が必要。

## 3. 各施策等における評価内容と改革改善

区分	施策名称	進捗評価	総合評価		改革改善の具体的内容
			主な取組内容や成果	課題	
1	地域防災計画の推進	おおむね順調	8月のゲリラ豪雨、9月、10月の台風の通過に対しそれぞれ災害対応を行なった。それぞれの事象に対する対応は概ね問題なく処理できたと思われる。また、10月の台風の際は、昨年浸水被害の発生した地区において浸水に対する対応を行ない浸水を免れた。また、2地区において避難対応が行なえた。	長期間の停電時における対応。 災害時における、高齢者や要支援者、災害弱者への対応。 避難勧告、避難指示などの発令と、実際の避難のタイミング。 避難所開設の準備と、避難所を開設した後の対応について。土砂災害警戒区域内における自主防災組織の避難訓練の実施が少ない	災害時における対策拠点の検討。 近年の風水害の対策や災害が起きた後の対処の検討。 災害時における、庁内関係部署との連携の見直し。 9月に排水ポンプ車の導入を行ない、10月の台風通過時に使用を行なった。
2	災害に強い支えあいのまちづくりの推進	おおむね順調	10月に市内を通過した台風の際に、浸水被害は発生しなかったが、ちの地区内の上原・横内区の一部に避難指示を出した。各地区との連絡を避難指示前から行っており、避難の際は一斉避難ができた。 近年の風水害等により多くの自主防災組織住民が個別受信機の配備を行なっている。	災害時における、各自主防災組織の高齢者や障害のある方、災害弱者への対応。 自主防災組織の避難対応と、避難のタイミング。 自主防災組織防災資機材整備補助事業の活用状況に、各自主防災組織の間で大きな開きが出てきている。	災害時における、高齢者や障害のある方などの災害弱者への対応について各自主防災組織内での検討の実施。 自主防災組織での避難対応と、避難のタイミングについての検討。 区長会や、まちづくり講座での、自主防災組織防災資機材整備補助事業の説明と活用状況の説明の実施。
3					
4					

※5つ以上の場合は裏面へ

## 4. 関連市民団体等の主な意見及び対応のポイント

		主な意見	市の考えや対応など
関連市民団体等名称			
開催回数			
参加延べ人数			
関連市民団体等名称			
開催回数			
参加延べ人数			

## 5. 添付資料

別紙「施策評価シート」